

不自由という名の自由について

夜白

星萌

登場人物

山井 風（やまい なぎ）

埼玉県出身、大阪の大学4年生。

一人暮らしで実家を離れたもののがなかなかうまくいかず、バイトでもミスを連発、就活は失敗し、今後の人生を迷い、高層ビルを見上げる。ぼんやりといなくなりたいと考えているとレイに道を聞かれ、後を追うも待ち伏せされる。

ボロボロの精神であたたかな場所がほしかった。必要とされたかった。

ここからいなくなりたいと話せば銀河ゴンドラへ乗り込み、惑星メアへ。

レイ

惑星メアに住むヴァンパイア。

リムレリアという花が食糧。

生まれたときからこの惑星におり、祭りや花火という文化に興味があり、時々、銀河ゴンドラで地球に遊びにきている。生まれてすぐ両親は消えたり。

ペギ

銀河ゴンドラの運営スタッフの一人。

惑星メアに住む妖精、レイの友人。

金魚と泳ぐのが夢で、祭り帰りのレイにお土産として金魚をもらいがち。

自身は銀河ゴンドラに一度しか乗つておらず、降りて最初に見たのが殺人現場だったのでは惑星メアと変わりがないと感じ、それから乗つていない。生まれた時、親が外敵から逃げられずこの子だけでも普通の子として扱われるようになると羽根をちぎられた。そのため飛べない。人間界にいたがネジによって惑星メアへ連れて行かれた。

ロイ

アメリカ人。27歳。麻薬取引に失敗し、

警察に追われているところをネジに助けてもらう。

そこから惑星メアへ移住。捕まつた友人や亡くなつた友人もいる。

孤独で何もなかつた大学生になりたての頃、友人となつてくれた人の勧めで麻薬に手を出してしまった。友人となつた人は薬を売りたかつただけ。後に逮捕されている。

ネジ（天木・あまぎ）

惑星メアに住む天狗。

ロイを助けたり、レイやペギの兄的存在。

良い治安など存在してもないがとりあえず治安維持のためにパトロールをするのが仕事。好きでパトロールをしている。

大阪のビル近くの路地

人々の声、車の音から徐々にビル風の音になり
路地に入つたことを表わす。

凧がダル着、財布、エコバックをポケットに入れ、
高層ビルを虚ろな目で眺めている。

高いな……痛いかな。

暗めな服装をし、白髪交じりの髪、赤い目に
金魚やリンゴ飴、わたがし、ベビーカステラなど
祭りの出店で飼つたと思われる物を手にしたレイが登場し、
凧に近づく。

すみません、南森公園の行き方って。

この道をまっすぐいって、右に曲がる道がでてきたら
そこを曲がって下さい。

ありがとうございます、助かりました。

と、駆け足気味で去ろうとするレイ。

ゲームの景品と思われるぬいぐるみを落としていく。

(捨い) 落としましたよ！ お兄さん！

レイはそれを受け取ると軽く一礼する。

何度もすみません。では。

と、改めて駆け足で去っていくレイ。

不思議な人。

凧はレイの後を追いかける。

レイが駆け足で入ってくるも凧の足音に気づき隠れる。
凧も駆け足で入ってくるもレイを見失い、あたりを見回す。

あれ、どこいった。

ちょっと悪趣味じやありません?

あ。

助けてくれたことには感謝しますけど、これ、ストーキング行為では?
いや、あの。

なんてね。冗談ですよ。

あなたもこの宝石の山々につられちゃったんですね。
だけどこれらは俺のです。あ、金魚は友人のですけどね。

あなたが先ほどいた路地の近くのお祭りで買えますよ。
今回のお祭りは大きいですからね。

興味ないです。

……なんて?

その購入品、興味ないです。

……? ジやあ、何が目的で。

……お兄さん?

……解剖反対!

違います! なんか、やつてるのかなって。

とは?
風貌、的に? コスプレというか、祭りの出し物とかなのかなって。

何かやつてる人なのかと。

いつ俺が人だと思つたんです?

え?
もし人じやなかつたらどうするんです、危ないですよ。

……別にいいですよ、どうなつても。

もしかして、さつきビルを見上げてたのつて。

さては訳あり、的なやつですか?

そんなおおごとじやないですけど。

……楽しい場所、興味あります?
え?

楽しい場所です。とっても自由なところ。

あなた面白そだから、招待してあげてもいいですよ。

自由を教えてあげます。ここから離れてもいいなら、ですけど。
……行きます。

凧
レイ

(頷き) この祠の裏の茂みの奥に、特別な乗り物があるんです。
じゃあ、いきましょうか。

暗転。

3 銀河ゴンドラ内

明転。

座っているレイと、立つて窓に張り付き下を見ている凧。

すごい！ たつかい！
よくみえるでしよう？ これから更に高くなりますよ。

……
……この銀河ゴンドラは惑星と惑星を繋ぐ特別な乗り物なんです。
……聞いてます？ おい、おい、聞けよ。

何ですか？
いや、えっと。堅苦しいのもなんですし、敬語やめません？

あと、俺はレイって言うんで好きに呼んで。

あっはい、いや、うん。

……名前は？

え？
名乗ったんだから名乗るのが人間界のお決まりなんじゃないの？

ああ、山井凧です。

凧ね、凧はなんであんなにビル見上げてたの？ ビルが好き？

あそこから落ちたら居なくなれるかな、つて。
痛みは感じちやうのかな、とか、消えたいなつて。

ふーん。

え？ 興味なし？
予想通りの回答だったから。

人間つてすぐ悩んで消えたーいつて言うでしょ？

あなたも人間なんだからそういうときあるでしょ。
違うよ。俺、ヴァンパイア。

は？ こんなときにふざける？
ふざけてないって、ほら、牙。

……うわあああああ！？

凧
レイ

レイ

うるさいなあ、言つたでしょ？

凧はできる限りレイから距離を取る。

そんなに離れる？

ニセモノ、かもしけないし。

ホンモノだつて。

いや、え、そんなファンタジックな存在、実在するわけ。

それがしちやうんだよね。今から俺たちが行くとこにはもつといふよ。

誰か、誰か助けて！　ここから出して！

無理だが！？

動くな！？　暴れるなつて！

騙してないしゴンドラ揺らすな！！

……私、食糧になるんですか？

私の血、不味いですよ！

うん、食べないよ？　食べない。

俺は惑星メアに咲くりムレリアつて名の花を栄養としてんだ。

血って当たり外れあるし、いろいろだるいんだよね。

知らない単語ばっか！

今、俺たちがこの銀河ゴンドラに乗つて向かつてゐるのが惑星メア。

俺の栄養は惑星メアだけに咲くりムレリアつて花のみ。どう？　わかつた？

言葉の整理は。

俺、惑星メアには生まれたときからいるの。

両親はいなけれど孤児院で妖精族のペギと親友になつてさ。

この金魚、そいつにあげるんだ。

妖精族とかヴァンパイアとか、熱が出そう。

熱が出るほど楽しいぞ、惑星メアは。全てが自由だ

……怖くなつてきた。

ガコン、と大きな音が鳴り、揺れが起きる。

ついた。ようこそ、惑星メアへ。

音楽が入り、暗転。

4 惑星メア・ゴンドラ駅

明転。

乗車口、下車口、出口が目と鼻の先の小さな駅のホーム。
ゴンドラから下りたレイと凧のもとへ

片方の羽根が破れた好青年の風貌をしたペギがやつてくる。

楽しめたか？

最高だつた！ これ、土産（と、金魚を渡す）

サンキュ、また家族が増えた。

……ところで、今はそんなおもちやがあるんだな（と、凧を見渡す）

ハジメマシテ。

いいだろ、いいおもちやという名の人間だよ。

人間？ お前！ また！

まあまあ。

まあまあじゃない。最近やらかしたばかりだろ！

最近？ やらかし？

数十年前にお前みたいな人間を面白がって連れてきたんだよ。

すぐ帰したがな。

ペギ、落ち着けって。こいつ凧って言うんだ。

消えたいとか居なくなりたいとか言つてたからさ、連れてきちゃつた。

自由の楽しさを教えてやろうと思つて。

お前はまたそうやつて。

ペギ、こいつはペギ。さつき話した俺の親友、妖精族のペギ。

こんにちは？

なあ凧、悪いことは言わない。さつさと地球に帰りな。

ええー。せっかく連れてきたのに。

こんなとこにくる現実逃避は楽しいか？

逃げた先にも逃げた先の障害つてのがある。

こいつは、レイはお前達と違つて宙ぶらりんできてるんだよ。

障害にぶつかつたことが少ねえんだ。深く考えもしねえ。

そんなレイのような自由はなかなかできないぞ。

それに、傷つくのは君なんだ。俺はもう傷つく人は見たくねえ。

……もう一度言うがレイの自由は特殊だ。それでもいいのか？

……その方が気楽でいいじyan。

縛られる現実より、うんといいよ。

ペギは大きなため息をつき、椅子に頃垂れる。

ペギ、説得力はまだまだだな。

レイ

凧

ペギ

うるせえ。

なんか、すみません。

そう思うなら帰つてくれ。

それはできません。

なんでちょっと強気なんだよ。

今日は凧の移住祝いだ。

移住。住むつてこと！？

え、うん。

替えの服ないよ！？ てか家もない！

誰かのはぎとれば？ 家も奪いなよ。

犯罪じやん！ 大罪だよ。

惑星メアは自由な惑星だから犯罪とか法律とかないの。

弱い奴が悪い、って常識でしょ。

知らないよ！ 常識じゃないし！

レイ、メアのこと何も教えてないだろ。
うん、見れば分かるだろ、って思つて。

お前さあ。（とレイにつかみかかる）

カコ、カコ、カコ、と下駄の足音がする。

凧
ネジ
レイ・ペギ
天狗！？

ネジが凧をゆつたり見る。

ネジ 凧 ネジ 凧 ネジ
ペギ レイ
名前はなんだ。
えっと、山井凧です。
何故ここにきた。何しにきた。
レイに連れられて?
それだけか?

えつと。

レイ 風

ネジ。

お前には聞いてない。

屈

私はもう、これから生きるためのルートから外れてしまいそうなんです。

このまま生きてたって、何も。

不自由だよね、
不自由で哀れな人間。

ネジ レイ ネシ

ネジと皿が去る。

相変わらずネジはお節介が好きだな。

いろいろ厳ついけどな。

ああ。そういえば、レイは相変わらずネジにひひつてたな。

お前だつてびひつてただろ！ 何も喋んなかつたくせに！

怖いたる！ 来るときの顔怒つてたじやん！

保護者だもんな。
てか、嵐の件。

ああ 実れたら

妙の懶る、何を金縛りで落した
や文用発展の特徴は、うつサジ。

そニガ不自由で哀れで面白ハジカ

ちてもな、地獄で法えて命を絶とうな

面白いからつてホイホイ連れてくん。

まだ2人目ですー。

前回のあいつだつて！ まあ。

…どう転んでも悲しくなるのはお前だよ、レイ。

わかってる、わかってるけど、あいつと似てたから。

……別人だよ。

……わかつてゐる、はずなんだ。

まあお前がいいならいいけど

そりそり廻のどこいてやるか
ネシと2人しゃべいたるアシ

二十一

弓き緋きしてからいくから
御からいくよ

レイ

じゃあ、またあとで。

レイは凧たちの方向へ、ペギは反対へと去る。
暗転。

5

酒場

銃声が響き渡る。

袖からロイの「ざまあねえな！」と叫び声がする。

明転。

ロイがピストルを手に登場し、テーブル席へと腰かける。

ポケットから小さな麻袋を取り出し、中から紫色の草を取り出す。

その草を見ながらロイはにやけを抑えられない。

下駄の足音がすると、驚いた顔になり、音の方向を見る。
ネジと凧が登場。

ロイ。

パトロールか？

そうだといったら？

……どうもしない。

……はあ、どいつもこいつも事件ばかり。

いい加減大人にならんか。

惑星メアでは可愛い方だろう？

今日だつて殺しはしてない。

……お前に紹介したいやつがいる。

隣にいる奴か？

鋭いな。

見りやわかんだろ。待て、そいつ、人間か！？ 惑星メアに人間か？

ネジは頷き、凧を見る。

……？

(ため息をつき) 相変わらず紹介が下手だな。俺はロイだ。お前は？

山井凧、です。

で、なんで紹介したいんだ？

お前と同じ人間だからだ。

……それだけ？

人間同士つもる話もあるだろう、俺は一度離れるよ。

ネジ
凧・ロイ
え?

ネジが退場。

（笑い）本当に口下手だな。何が言いたいかわかんねえよ、なあ？

そう、ですね。
そんなに堅くなるなよ、凧。俺もロイでいいからさ。

はあ。
堅い堅い、ここは惑星メアだぜ。気楽でいいんだよ。

ここに来たのは最近か？

ああ、うん。今日。

今日！？ それはまた突然だな。

レイに連れられて。

今日は祭りだったのか。

わかるの？

祭りの度に地球に行ってるからな。

そうなんだ。

で、なんで連れられてきたんだ？ 何か相談でもしたか？
レイを追いかけたら、ずるずると。

お前も変わつてんな。レイを追いかけるなんて。

白髪交じりの髪、赤い目なんて珍しいじやん。

だからってついていくなよ。

まあ別に、もうどうなつてもいいし。

……何かあるんだな。

……人からしたらなんだつてレベルではあるんだけど。

やらかしたかというか。

（悲しそうな表情）話せねえか、無理もねえよ。初対面の人間なんだ。

警戒して正解だよ。こんな俺と親しくしたい人間なんて。

違う！ 親しくしたくないとかじやなくて。私、話すの下手だから

どう話せばいいのかな、と。

ありのまま話してくれたらしいさ。ここは自由の惑星だから。

じゃあ……私は、何やつてもうまいかないの。

友達だってできないし、できたと思つたら離れちゃうから

ずっとひとりぼっち。

バイトだつて精算ミスするし、提供も間違えて、お客様に水もかけて

就活だつてももちろん失敗。最終面接なんてほど遠い。何もできないし、何やつてもうまくいかないの。

……そうか。

この時期に内定出てないとか、終わってるよね。

大学卒業して新卒で新社会人、こんなルートも歩めないの。

みんなと同じになれない。私の人生レールなんて、もう。

同じ、がいいよな。

わかってくれる！？

悩みは違うけど、俺もみんなと同じに戻れるなら、戻りたいよ。

ロイも、なにかがあつてこの惑星にきたの？

そう。

……教えてくれないんだ。

え？

親しくしたくないから話してくれないの？ 私にそう言つたよね？

……するいな、聞き方。

同じ事言つただけだよ。

親しくしたいから、話したくないこともあるんだよ。

その感覚、私にはわからないな。

……勉強になつただろう。

全然、むしろ距離ができた感じ。

なんなら騙されて自分だけペラつた子羊の気持ち。

押すな、凧は。

話してくれる気になつた？

俺も友達が居ない寂しい奴だつた。そんな俺に話しかけてくれる奴がいた。

そいつは俺に薬を売りたかつただけだったが、俺は友達だと思って仲良くなろうと手をつけた。おかげでいろんな人間と話した。楽しかつたなあ。
もつともつとつて、栽培から売買までやつたら、もちろんお縄だ。

追いかけられてる俺を、通りかかった何も知らないネジが助けてくれたんだ。
あの日から今日まで、それからずつと、この惑星にいる。

……

嫌だよな、こんなやつ。じめつたくてネチネチと、陰気臭いだろ？

俺の方が人生レールつてやつ、ぶつ壊れてんだ。

どうやつたつて真つ当な人間には戻れないんだ。

深層は黒い塗料が塗られた人間にしか戻れないんだ。

どうやつて生きるかなんて自由だ。もう俺と関わらなくていい。

ロイは離れようとする。

そんなこと、一つも言つてないよ。

……思つては、いるだろ。

ないよ、ない。びっくりはした。だけど、ロイに比べて私は、なんてちっぽけなんだろうって。

風。

私は、白にも黒にもなれない、何も成し遂げることもない。
きっとこれからも。何もできないなんて悲しいな。

私にはなんでそんな力が、価値もないんだろう。

風 風 風
ロイ ロイ ロイ

レイが入つてくる。

それは、自分自身でつくつてくんじやねえの？

レイ。

ロイ、久方の人間で丸くなつたか？

別に。普段と変わんねえよ。

ふーん。で、風は自分の悩みの答えはでたの？
ちっぽけさを再確認しただけ。

あつそう。

レイの話は？

え？
レイが自分自身でつくるに至つた話は、風にしたのか？

まだ。
そこ、話してやりなよ。

聞きたい？

聞けるなら？

聞きたいかあ、そとかそとか。

嫌ならいいけど。

(遮り)俺孤児なんだよ。

あ、え。
この惑星の路地にいた俺をネジが拾つて、孤児院に預けてくれたんだ。

孤児院つていつても教育があるわけじゃないし、自分で自分の道をつくつてい
くしかなかつた。俺の生き方はその時から変わらない。自由だ。

それは、自由なのかな。

自由だよ。自分でみつけて自分でつくつていく。

ペギだつて俺と同じようなものだよ、俺より後に孤児院にきたから
俺とは自由のカタチは違うけど。

カタチの違う自由？

風

風

風

風

風

風

風

風

風

風

風

風

ペギはこの惑星で生まれてない。

それに親に羽根をちぎられ、その場で両親とも失つた。

屈 酷い。

人間に見つかったんだってさ。妖精だとはれないよう^に羽根をちぎられ、両親が身代わりとなつて、ペギはネジに助けられたんだ。

何もなかつた俺と、そんな過去を持つペギの描く自由は違う
あいつの中にあるブレーキは、俺はない。

なんか、さ、みんなはそんな過去があつ

悩んだりしてるので、なんで私は。私はこんなにもちつぽけなんだろう悩む権利すらないくらいこの悩みは弱いのに、なんでみんなみたいに

私は強く生きられないんだろう。
せめて普通で、どうして普通で

せめて普通はどうして普通にも生きられないんだ？」「うん、なんで大半が乗れるレールにすら乗れないんだろう、

死ぬことすらできないんだろう。

そいつも俺が連れてきた。

お前、そいつの話するの嫌がってただろ？

失う?

あいつもお前みたいにくよくよ悩んでるやつだった。

シンソツってやつで会社に入つたがうまくいかないつてほやいてたんだ(新卒……)

そんなに悩んでるならってこの惑星に連れてきた。

ハヨウシナシナカニモレバシナトコリ出かれて遊んで
ずつとここに居たいつていつたくせに、あいつ帰つたんだ。

僕は今、重大なプロジェクトを学ばせて仕事があるなら、まあ、仕方ないよね

そんなことない。嫌なら辞めればいい。ロイみたいにここに住めばいい。

あいつは俺にいろんな祭りを教えてくれた
じゃあ、また会いに行けば。
もと
一緒に出掛けたかった

行つたさ。行つた。あいつ、出会つた場所にも、会社にも居なかつた。
え?

家のクローゼットの中だった。

夙、口イ、驚愕とした表情になる。

レイ

首にはロープ、腕、腹、足には痣。部屋はゴミ溜め。異臭。テーブルの上にはメアに戻りたい、あの楽しさが恋しいの置き紙。あんなことになるなら、あいつを帰さなきやよかつた。

もしくは、ここに連れてこなきや、メアを知らなきやあいつは、比べることもなく、生きていたかもしれない。俺のせいで、あいつは。

昔、その話を聞いたがつたこと謝るよ。

別にいい。あいつの生きた証もあるんだ。

死ぬくらいなら助けを乞えよ、苦しみながら生きるより、

メアで新しく、別の人生をはじめればいい。生き方は一つじやない。悲しいよね、きっと。親しい人が亡くなるって、悲しいんだよね。あの頃は悲しかったかもな。

レイ

今は違うの？

悲しいって言葉で片付けたらあいつに申し訳ないって思った。

自殺って道は、あいつが選んだ道なんだ。俺が口を出す権利はない。メアだって殺人は、死ぬことはよくある、それをとがめられることはない。選択ってのは、人生ってのは、全部自由なんだ。メアは本当に自由だ。

誰の目も気にしないからな。

……だけど、それは、それこそ悲しいこと。

誰からも関心を寄せて貰えない、孤独だよ。

孤独、ひとり。だけど、レイはペギやロイと仲良しじゃないの？

近くにいるだけだよ。

地球と変わらない、むしろ離れてるよ。たまたま会つて友達になるまでは同じだ。だけど、メアはいつ死ぬか、いつまで生きるかの単位が地球と違うんだ。死んでも弔わない。死んでも関心なんて永遠にない。仲が良くても、悪くともな。

でも、それはほとんど地球と同じじゃないの？

気にかけてくれる友人も、血の繋がりがあるやつもない。有償も、無償の愛もない。自分しか、自分を気にかける奴はいない。

地球の方が温かかったよ。戻れるなら、俺だつて。

メアでゼロから人生をはじめるか？ それとも、元の人生を続けるか？

私は……

……何を選んでもいいんだよ。

どつちで生きても、これから道には必ず障害がある。

どう乗り越えるかは自分で見つけるんだ、見つけていくんだ。それが楽しい。俺は、そうやって生きてきた。これが失敗とか成功とかそんなのはわからないけど、俺はこうやって生きるのが楽しい。

凧

レイ

乗り越えて、いけるのかなあ。

なんなら、メアの方が苦しいかもな。

自由なのに？

自由だから。地球では悩んで答えが出せないようなことも、メアでは最短で答えを出すこともある。殺人つてことな。

あと、祭り！ 祭りみたいな娯楽もねえんだよな。

地球はいろんな祭りがあって楽しい！ 信号とか変なルールが多いけどな。確かにレイの言うとおりだ。ここは変な奴しかいねえから、

地球と違つて苦しいかもな！

変な奴？

レイとかな。

レイ

レイ

お前ー！

レイ

レイ

ペギが慌てた様子で入つてくる。

ペギ 大変だ！ ゴンドラが壊れた！
凧・レイ・ロイ え！？／ええ！？／は？

音楽が流れるとともに暗転。

6

ゴンドラ駅

明転。

扉が外れたり、部品が外れたりして いるゴンドラの元へ
ペギ、レイ、遅れてロイと凧がやつてくる。

なんで、そんな走るの速いの。

ヴァンパイアと妖精だ。バケもんだからな。

これはまた、ボッコボコだな！

笑い事じやねえよ。つたく、もう地球に行けないからな。

は！？

当たり前だろ、動かないどころか乗れないからな。

祭りは！？

永遠の別れかな。

どうにかしてよペギーー。

無理。直したことないし、ていうか誰もそんなことできねえだろ。

それは。

ロイ

そうだな。

凧はゴンドラに近づき、部品をいくつか拾う。
不思議そうにのぞき込むロイ。

凧
ロイ

凧?
工具とかないの？さすがにクレーンとかはないだろうけど、ネジとか。

ネジが入ってくる。

凧
ネジ
ペギ

呼んだか?
ネジ違い。ないの?
あ、ああ、持つてくる。

ペギが去る。

凧
レイ

お前、すげえな。初日で。
何が？

凧
レイ

いや、なんでも。
俺でも初日には無理だったな。

凧
レイ

いいさ、これくらいで。

ネジ
レイ・ロイ

いいんだ。

ペギが工具箱をもって駆け足でやつてくる。

凧
ペギ

これでいいのか？

応急処置くらいなら、にはなりそうだけど。

凧がゴンドラに手をかけ、修理をはじめる。

まじか。

レイ、これまた面白い人間を連れてきていたみたいだな。

俺もびっくり。ていうか、何があつたんだ?
一瞬目を離したらこのザマだ。

銃痕があるな。

じゃあただの喧嘩か。

あれだけここでは何もするなつて言つてんのに。

ペギ
レイ
ロイ
ペギ

ペギ
レイ
ネジ
レイ
ペギ
ペギ
ペギ
ペギ

レイ

風 その他

メアだから仕方ないな。
できた。

まじで！？

大学で建築学んでるんだよね。

風

ペギ

レイ

ロイ

風

ペギ

レイ

ロイ

風

ペギ

レイ

風

人間が向こうから来ることはできないんだ。
私は来たよ？
俺に連れられてだろ？ メアにいる人間しか、ゴンドラは

何？

ネジ、泣くなよ。
まともな奴ほどこの惑星を出て行く。
また来るよ。

風以外の顔が曇る。

ネジ、お面の下で泣いている。

昔、ブロックでつくった家をみて、みんなが素敵なお家って褒めてくれたの。
それが嬉しくて、また、素敵なお家って笑顔で言われる家を建てるのが
夢だったの。……ああ、なんで忘れてたのかな。
思い出したってことは、心の中にはあったんだろ。それ、叶えにいけば？
レイ。

本当はゴンドラの為にずっとここに居てほしいけど、
やりたいことをやらなきやね。

でも、もうこんな時期に求人なんて、来年になっちゃうかも。
いいじゃねえか、レールなんて。

……そうだね。私、みんなみたいに飛び抜けてレールから落ちてないや。

レイ・ペギ・ロイ おい。

私だって、地球でだって、もつと自由に生きられるよね。
今日までの私の、不自由に見えてたもの、全部自由だつたんだ。
私、素敵なお家、つくるよ。

見つけられないんだ。奇跡が起きない限り、凧はメアには、もう。起きたかもしれないじやん、その奇跡。てか、起こすよ。

みんなには、いつか私が建てた家をみて笑顔で素敵って言わなきやいけないからね。私、ゴンドラの修理のお礼もらつてないから。それもそうだな。

凧
レイ
ペギ

じゃあ、俺が責任を持って地球までゴンドラを操作するよ。
本当？ ありがとう。

凧
レイ
ロイ

凧
レイ
送つてやれよ。

凧
レイ
帰りは人間一人でも帰れるだろ。

凧
レイ
ネジ
全くお前は、紳士には程遠い。

はあ？

いいよ、一人で帰れるなら一人で帰るから。

凧はゴンドラへと向かう。

凧
ねえみんな、素敵な時間をありがとう。
みんなには感謝してもしきれないよ。

本当に、本当に楽しかった。じゃあ私、行くね。また。

凧はゴンドラに乗り込み、ドアが締まる。
凧とゴンドラが見えなくなっていく。

これで良かつたのか。

ああ、凧は、きっと……。自由に生きていくさ。
本当に行ってしまうんだな。

凧
ネジ
ロイ
ペギ
レイ
意外じゃないよ、あの時もネジは泣いてた。

今日はレイの方が寂しそうだけだな。

寂しくねえし、別に。これはあいつの選択だから。
あいつの選んだ、自由なんだ。